

大崎町の町政運営の最重要課題は

志布志市との編入合併



中倉 毅 議員

町政運営の中で最重要課題は何か。

志布志市との

合併問題

町長

本町の重要課題は、少子化、高齢化、農業の経営安定、子育て支援等があるが、最重要課題は志布志市との合併問題である。

町民は編入合併を理解しているか

中倉議員

町長は町政座談会で編入合併を説明したが、町民に理解されたか。

おおむね理解

町長

町政座談会では参加者が少なかったが、おおむ

ね編入合併を理解していただいたと思う。

今後の対応は

中倉議員

町長は、編入合併を推進すると言われる。合併問題調査特別委員会は編入合併を否決した。これをどう解決するのか。

議会と話し合いを

町長

町民は志布志市との合併を望んでいる。編入合併についても、おおむね理解している。しかし、現在、議会が反対している。民意も重要であり、今後、議会とひざを突き合わせて話し合いを進めていきたい。

合併新法の期限内に

道筋をつけよ

中倉議員

町長は合併について、自分の責任で道筋をつけたいと言っているがいつ

までにするのか。

合併新法の

期限内までに

町長

平成22年3月までの合併新法の期限内までに議会との話し合いをして解決したい。

現在の財政は健全か

中倉議員

平成18年度の決算では、財政力指数0.32、経常収支比率89.3、実質公債比率9.6であり、志布志市と比較しても大きな差はないと思うがどうか。

総体的には

黒字の状況である

町長

平成19年度は財政調整基金が8千万円取り崩されたが積立金が1億4千万円出来た。また、施設整備基金の取り崩しが4千万円あり、差し引きして約2千万円の積み増しができ、総体的には黒

字の状況である。

財政5カ年計画を示せ

中倉議員

現在の財政運営が健全で財政の収支が黒字であれば、今後5カ年の財政計画を町民に公表すべきではないか。

財政計画は作れない

町長

地方財政を取り巻く状況は厳しく、地方交付税や補助金の見直しが進む中で、今後の財政を予測することは難しい。大崎町も自主財源が32%で60%以上を国や県の交付金、補助金に依存している現状今後の財政計画を町民に示して安心してもらうことも必要だと思っ

財政調整基金の今後は

中倉議員

大崎町の財政調整基金（一般家庭にたとえると自由に使える預金）も、ここ何年か取り崩して一般会計へ繰り入れしているが、今後どの程度を確保するのか。

10億円を目安にする

副町長

財政調整基金、施設整備基金、減債基金等で本年度4億1千万円取り崩しており、ここ3年間はこのような財政運営が続くと思う。しかしながら財政調整基金として、約10億円程度は確保したい。